

公示用

設 計 書

工事名称 北野台中学校照明設備改修工事

工事内容説明書

1. 工事名称 北野台中学校照明設備改修工事

2. 施工場所 札幌市清田区北野4条4丁目

3. 請負工事費

内訳 工事価格

消費税等相当額

4. 工期 契約に示す着手の日から 令和7年10月20日 まで

5. 工事内容 校舎棟、屋内運動場（外部）、屋外灯等の
既設蛍光灯・白熱灯器具をLED器具に更新する工事
を行う。

共通費の算定に用いる工期 T=4.5月

本工事は、発注業務平準化を考慮し早期発注をしている為、共通費
算出に用いる工期Tは余裕期間を除き算出している。

（機器や労働者確保等の準備に要する現場着手までの期間
については、現場代理人の常駐を要しない。）

札幌市住宅管理公社

校舎棟		電灯設備						
名 称	摘 要			数 量	単位	単 価	金 額	備 考
LED照明器具	LSS1	-2	-15	LN		個		
LED照明器具	LSS6	-4	-48	LN		個		
LED照明器具	LSS6	-4	-65	LN		個		
LED照明器具	LSS6	-4	-65	LN 椀型 ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ吊(再使用) L=500×2 AD-1		個		
LED照明器具	LSS7	-4	-38	LN		個		
LED照明器具	LSS7	-4	-56	LN		個		
LED照明器具	LSS9	-2	-15	LN		個		
LED照明器具	LSS9	-4	-30	LN		個		
LED照明器具	LSS9	-4	-65	LN		個		
LED照明器具	LSS13	-4	-29	LN		個		
LED照明器具	LSS13	-4	-29	LN ﾚｰｽﾀｲﾌﾟ		個		
LED照明器具	LRS3	-2	-15	LN		個		
LED照明器具	LRS3	-4	-65	LN		個		
LED照明器具	LRS6	-4	-30	LN		個		
LED照明器具	LRS15	-6	-58	LX		個		
LED照明器具	LRS20	-4	-65	LN		個		
LED照明器具	LBF3MP/RP	-2	-13	LN		個		
ｶﾞｰﾄﾞ	G15 (LBF3MP/RP-2-13用 9φ SUS)					個		
LED照明器具	LRS1	-	-08	LN		個		
LED照明器具	LRS2	-	-120	LZ		個		

校舎棟		電灯設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
リニューアブル°レート	LRS1-08(LZ)用		枚			
LED照明器具	露出形 FBC01-161-GL相当品 (N-161) -		個			
LED照明器具	露出形 FPL01-101-GL相当品 (P-101) -		個			
LED照明器具	露出形 FBC2-321-PH相当品 (H-321) -		個			
非常用 LED照明器具	K1-LSS1 -4 -30 LN		個			
非常用 LED照明器具	K1-LSS1 -4 -65 LN		個			
LED非常照明器具	K1-LSS1 -4 -65 舟型P吊 L=500×2 AD-1		個			
LED照明器具	SP-1 LEDスチットライト		個			
LED照明器具	SP-2 LED7' ラットライト		個			
LED照明器具	SP-3 耐圧防爆型LED器具 吊下形		個			
LED照明器具	SP-4 LEDシールス建築部材照明		個			
LED照明器具	SP-5 LED7'ラット'ライト		個			
LED照明器具	SP-6 LEDスチットライト		個			
LED照明器具	LED60型 ランプ		個			
フラッシュ°レート (金属製)	丸型 プランク		個			
プランク°レート (アクリル製)	245φ		個			
フラッシュ°レート (金属製)	角型 プランク		個			
フラッシュ°レート (金属製)	角型 プランク 2連用		個			
フラッシュ°レート (金属製)	角型 プランク 3連用		個			
フラッシュ°レート (金属製)	角型 プランク 5連用		個			

校舎棟 電灯設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A × 1 ﾉｰﾒ付 -		個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A × 2 ﾉｰﾒ付 -		個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A × 3 ﾉｰﾒ付 -		個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A × 4 ﾉｰﾒ付 -		個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A × 5 ﾉｰﾒ付 -		個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A × 9 ﾉｰﾒ付 -		個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A × 2 ﾉｰﾒ付 1P L 15A × 1 ﾉｰﾒ付		個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A × 3 ﾉｰﾒ付 1P L 15A × 1 ﾉｰﾒ付		個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A × 4 ﾉｰﾒ付 1P L 15A × 1 ﾉｰﾒ付		個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A × 1 ﾉｰﾒ付 3W 15A × 1 ﾉｰﾒ付		個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	3W 15A × 1 ﾉｰﾒ付 -		個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	3W 15A × 2 ﾉｰﾒ付 -		個			
ﾀﾝﾌﾟﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A × 1 ﾉｰﾒ付 3W 15A × 1 ﾉｰﾒ付 1P L 15A × 1 ﾉｰﾒ付		個			
ﾘﾓﾝｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1回路用		個			
ﾘﾓﾝｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	2回路用		個			
ﾘﾓﾝｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	3回路用		個			
調光ｽｲｯﾁ	0-ﾀﾘ-式 3.2A		個			
埋込ｺﾝﾍﾞﾝﾄ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	2P15A(接地極付) × 1(ｽﾀｯﾌﾟ止め) 接地端子付 125V		個			
埋込ｽｲｯﾁ・ｺﾝﾍﾞﾝﾄ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P15A × 1 ﾉｰﾒ付 2P15A × 1 ﾉｰﾒ付		個			
600V耐燃性ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ 絶縁電線(EM-IE)	2.0mm		m			

[illegible]

[illegible]

屋外 屋外照明設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
LED照明器具 (屋外灯)	LST1 -60 LJ		灯			
外灯ボール	TB-4.5 上段φ76.3下段φ139.8 A'-S250角 溶融亜鉛メッキ塗装仕上 標準色		本			
ボール内ボックス	小型1灯用MCB2P送端子付		個			
地際部防食塗装	A'-S式 変性エポキシ樹脂塗装 下端500mm		か所			
自動点滅器	3A 100V 光電式リッド線型 金具付		個			
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C 管内		m			
波付硬質合成 樹脂管(FEP)	(30)		m			
根巻コンクリート	450φ × 100 (ボール外径139.8φ)		か所			
600V CVケーブル	14mm2- 2C FEP内(PF・CD)		m			取外し
600V絶縁電線 (PF管内) 取外し	5.5mm2 × 1本 再使用する		m			
再取付		1	式			
撤去費 再使用なし	屋外 屋外照明設備	1	式			
計						

特 記 仕 様 書

I. 工事概要

- | | | | | | |
|-----------|----------------|----|---|----|------|
| 1. 工事名称 | 北野台中学校照明設備改修工事 | | | | |
| 2. 工事場所 | 札幌市清田区北野4条4丁目 | | | | |
| 3. しゅん工期限 | 契約書に示す着手の日から | | | | |
| 4. 部分引渡し | 契約書の時期 | 令和 | 7 | 10 | 月20日 |
| 部分引渡し | の時期 | 令和 | 年 | 月 | 日 |
| 引渡し | の範囲 | : | | | |
| 5. 工事内容 | | | | | |

建 物 概 要		工 事 概 要	
用 途	中学校	項 目	内 容
構 造	R C 造、S 造	電灯設備	校舎棟、屋内運動場（外部） の照明設備の更新
規 模	校舎棟：地上3階建 屋内運動場：地上2階建	屋外照明設備	屋外灯、照明ポール（基礎は既設再利用）

Ⅱ. 工事仕様

1. 本工事は、公共工事に準じるものとする。
2. 図面及び仕様書に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版、（建築工事編）令和4年版、（機械設備工事編）令和4年版、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版、（建築工事編）令和4年版、（機械設備工事編）令和4年版によるほか、一般財団法人札幌市住宅管理公社建設工事請負契約款により、工事を履行するものとする。
3. 該当項目
（1）特記事項は●印のついたものを適用する。

Ⅲ. 特記仕様

項 目	特 記 事 項
1. 適用法規等	建設業法および施行令等ならびに関係法令を遵守し、工事の適正な施工を図るものとする。
2. 特許権等	一般財団法人札幌市住宅管理公社建設工事請負契約約款第8条に基づく特許権等の対象となっている工事材料、施工方法等。 ・特許権等の種類および内容（ ）
3. 工事提出書類	工事契約締結後すみやかに監督員に工事着手届、工事工程表、現場代理人及び主任主任技術者（監理技術者）等指定通知書（各2部）、使用資材届（各2部）等を別紙「様式集」により、提出するものとする。
4. 機材及び材料	設計図書の仕様により選択し、監督員に使用資材届、承諾図、品質性能等の資料を提出し承諾を得ること。「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」（（社）公共建築協会編集）の活用により評価を受けた材料を使用する場合は、評価書の添付により品質性能等の資料の提出を省略することができる。
5. 道産品の使用	本工事に使用する使用資材のうち、道内で産出、生産または製造される資材等で規格・品質が適正である場合は、これを優先的に使用するように努めるものとする。
6. 工事用動力等	本工事に必要な仮設、照明、工事用動力、用水、試運転調整および関係官庁への手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。
7. 工事標識	● 要 ○ 不要（仕様は、特記仕様書2 工事標識による）
8. 火災保険等	工事の内容等により、火災保険、建設工事保険、組立保険等の1以上の保険を付し、その写しを監督員に提出すること。（保険期間：保険の目的物が工事現場に搬入される日～しゅん功期限＋14日以上）
9. 法定外の労災保険の付保	（1）受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対応する補償に必要な金額を担保するため、法定外の労災保険を付すこと。 （2）前項で定める保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものの写しを速やかに監督員に提出すること。
10. 実施工程表・施工計画書等	着工に先立ち実施工程表、施工計画書等を提出すること。
11. 工事月報	工事工程月報を作成し、監督員に提出すること。
12. 現場管理	現場代理人を責任者とし、関係法令に従って事故の防止に努めるとともに公害、災害の発生のおそれがある場合には、監督員と協議し適切な処置をとること。
13. 安全衛生管理	労働安全衛生法第30条第2項の規定に基づく特定元事業者としての指名をする場合がある。また、敷地内除排雪については、工事の安全確保のため適切に行うこと。
14. 監督員の立会い	臨検、埋設工事、スリーブ入れ、主要機器の搬入・据付および試運転調整時には、監督員の立会いの上に行うものとする。
15. 主任（監理）技術者資格	建設業法による主任（監理）技術者の資格を有するもの。及び、監理技術者は国土交通大臣の登録を受けた講習を受講したものとする。
16. 電気保安技術者	●（第1種又は第2種電気工事士（一般用電気工作物） ○ 電気主任技術者又は同等の知識及び経験を有するもの（事業用（自家用）電気工作物）
17. 臨時検査	発注者の工事施工途中における検査の実施 ・臨時技術検査 発注者が必要と認めた場合に行う ○ 中間技術検査 工事施工途中に行う技術検査 実施回数は原則年度に1回とする
18. 工事しゅん功時提出書類	次に掲げる書類及び完成図書を提出すること。 （1）工事しゅん功届（2部）・・・しゅん功日と同日 （2）諸官庁検査・許可書等・マニフェスト（A＋E票） （3）工事写真、完成写真（元データも含む） （4）しゅん功図 ● 原図、製本（●A4判2部、○A2判1部） ● C A Dデータ ○ 施工図（製本1部） （5）打合せ記録簿、各種測定表、保証書、社内検査書等（監督員の指示による） なお、受注者は著作物等（工事写真、完成写真等）の利用を発注者に許諾するものとする。

- | | |
|------------------|---|
| 1. 営繕住宅の
施工 | <p>(1) 現地での施工開始前に、対象住棟地区の集会所へ施工開始の連絡をすること。</p> <p>(2) 工事施工の通知書を住棟の各共用階段室1階に掲示し、必要に応じ各戸に配布すること。</p> <p>(3) 各住戸内の工事が完了した時は、入居者よりサイン又は確認印を受けること。
(空住宅は、管理人の確認印とする)</p> <p>(4) 住宅内の工事は必ず入居者立会いのもとで行い、作業工程の調整は、入居者と充分に行い遺漏の無いよう行うこと。</p> <p>(5) 入居中での工事となるため、住民とのトラブルや安全対策には十分留意すること。</p> <p>(6) 玄関前アプローチへの工事車両乗り入れは厳禁とする。</p> <p>(7) 作業場内での資材等は、常に整理整頓し事故の防止に努める。</p> |
| 2. 引渡し | <p>現場代理人は主要機器等の取扱説明書、付属品、カギ等については、目録を付して建物管理者に引き渡すものとする。使用取扱方法については取扱者に直接説明を行うこと。</p> |
| 2.1. 疑義 | <p>設計図書に明記のない場合、または疑いが生じた場合は監督員と協議する。</p> |
| 2.2. 施工体制
台帳等 | <p>(1) 施工体制台帳 建設業法並びに公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、受注者は下請契約を締結する場合には下請金額にかかわらず施工体制台帳を作成し工事現場に備えるとともに、作成後速やかに施工体制台帳の写しを監督員に提出するものとする。また、施工体制に変更が生じる場合は、その都度、提出するものとする。その際、資格要件にない免許・資格証等の unnecessary 個人情報 は添付しないこと。なお、施工体制台帳の作成範囲・構成は、「施工体制台帳作成のポイント(札幌市財政局工事監理室)」による。</p> <p>(2) 施工体系図 受注者は、施工体制台帳をもとに施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲示するものとする。</p> <p>(3) 現場の管理 受注者は、監理技術者、主任技術者(下請負を含む)及び元請負の専門技術者(専任している場合のみ)に、工事現場において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。</p> |
| 2.3. 建設副産物
対策 | <p>(1) 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)の対象となった場合は次の項目にあげた事項について措置を講ずること。</p> <p>①「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を厳守し、再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量等を通じて、資源の有効な利用の確保及び廃棄物の適正な処理を図り、生活環境の保全に努めること。</p> <p>②工事に着手する前に別途指示する「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、監督員に説明の上提出するとともに、特定建設資材廃棄物の再生資源化等が完了したときは、実施書によりその実施状況を報告すること。</p> <p>③本法律の対象となった場合は、契約等の新たな手続きが必要となるので留意すること。</p> <p>(2) 受注者は、「建設副産物適正処理推進綱」を厳守して、建設工事の円滑な施工の確保及び生活環境の保全に努めるものとする。</p> <p>(3) 受注者は、工事着手時に別途指示する再生資源利用計画書(建設資材を搬入する場合)及び再生資源利用促進計画書(建設副産物を搬出する場合)を作成し、監督員に提出するとともに、工事完了時には、実施書によりその実施状況を報告すること。</p> |

24. グリーン購入 「札幌市グリーン購入ガイドライン」を参照し、環境負荷の低減を考慮した材料等を選定し、グリーン購入の推進に努めること。資材（材料及び機材を含む）の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の環境負荷低減に配慮されたものを使用するよう努めること。
25. 建設機械の選定
- （1）建設機械 工事に使用する建設機械は以下による。
- 「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」（改正 平成13年4月9日 国土交通省告示第487号）に基づき、指定された機械を使用する。
- 本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、国土交通省「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械及び平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用するものとする。ただし、道路運送車両法の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車の種類で、有効な自動車車検証の交付を受けているものは除く。
- その旨を施工計画書に記載し監督員の確認を受けるとともに、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。なお、これによりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

対 象 機 種	型 式	規 格
バックホウ	油圧式クローラ型	ディーゼルエンジン
ブルドーザ	普通、湿地、リッパ装置付	(エンジン出力 7.5 KW 以上 26.0 KW 以下)を搭載した建設機械に限る。
トラクタ・ショベル	ホイール型	ただし、道路運送車両法の排出ガス規制を受けている建設機械は除く。
発動発電機	可搬式、溶接兼用機を含む	
空気圧掘機	可搬式	
油圧式杭圧入引抜機		
ローラ	ロードロー、タイロウ、振動ロード	
ホイールクレーン	ラフテレーンクレーン	

2. 発生材の処理・処分

 1. 発生材処理・処分に係る関係法令の遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律等関係法令を遵守する。
 2. 発生材の分別 排出時に現場で搬入するリサイクル施設・処理施設に合わせて分別することを原則とする。
 3. 産業廃棄物運搬・処分 排出事業者（元請人）は、収集運搬業者・処分業者にそれぞれ委託し、書面にて契約をすることを原則とする。
又、運搬・処分にあたってはマニフェストにより明確にすることを原則とする。ただし、アスベスト含有製品の処理については、別項目「アスベスト含有製品の処理等」による。
 4. 発生材の処理
本工事で発生する建設副産物の処理方法は下記のとおりとする。また、処理施設については、原則として札幌市内の処理施設とし受入条件等を確認の上、事前に監督員と協議すること。なお、搬出先等の指定なきものは「産業廃棄物処理業者名簿」を参照し、適切に処理、処分すること。

(URL: www.city.sapporo.jp/seiso/jigyousyo/sanhai_meibo/sanhai_meibo.html)

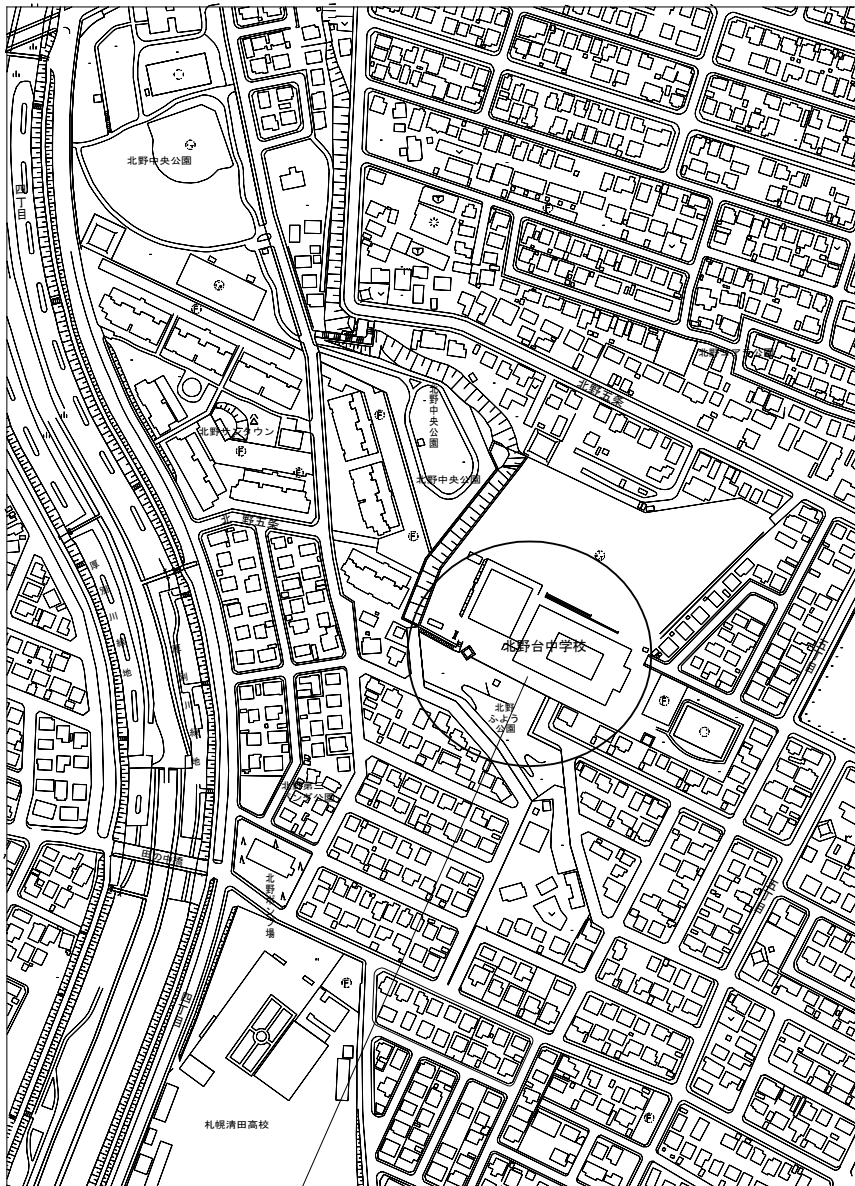
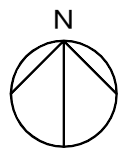
- (1) 再生資源化施設へ搬出
- | | |
|----------------|---------------------|
| ○アスファルトコンクリート塊 | ○コンクリート塊・コンクリートブロック |
| ○金属くず | ○混合廃棄物（分別不能な廃棄物） |
| ○廃石膏ボード | ●廃プラスチック類 |
| | ●廃蛍光管類 |
- 水銀ランプ・ナトリウムランプ
- (2) その他の施設へ搬出
- | | |
|------------|-----------------------|
| ○ガラス・陶磁器くず | ○コンクリートくず・軽量ブロック・レンガ類 |
| ○AＬＣパネル | ○アスファルト防水材 |
| | ○汚水（杭汚泥） |
| | ○泥土、脱水ケーキ |
- (3) 建設発生土の処理
- | | | |
|-------------|-----------------|-------|
| ○指定地へ搬出（○堆積 | ○敷均し） | 搬出先（ |
| | ○構内指示の場所の運搬（○堆積 | ○敷均し） |
- (4) 引渡しを要する発生材（調査を監督員に提出し下記場所に保管すること。）
- 保管場所（
- (5) 特別管理産業廃棄物
- | | | | | |
|--------|------|---------|------|-----------|
| ○引火性廃油 | ○廃強酸 | ○廃強アルカリ | ○ＰＣＢ | ○飛散性アスベスト |
|--------|------|---------|------|-----------|
- その他（
- なお、特別管理産業廃棄物の処理にあたっては『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』第１２条の２に基づき、特別管理産業廃棄物管理責任者を選任し管理とさせること。
- アスベスト含有製品の処理については、別項目「アスベスト含有製品の処理等」による。
- (6) 有価金属
- ・有価金属は、下記の業者で処分すること。
- | | |
|--------------------------------|------------------|
| ①札幌市競争入札参加資格者：物品・役務関係・再生資源関係業者 | |
| ②廃棄物再生事業登録業者（知事登録） | ③金属くず商許可業者（警察許可） |
- なお、搬出を行った際、領収書又は取引票及び許可証等の写しを監督員に提出すること。
- 有価金属は、材料引渡リストを作成し、下記保管場所に保管すること。
- （保管場所）
- (7) フロン類の処理
- フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律を遵守し、適正に処理すること。
- (8) 産業廃棄物運搬車両表示
- 産業廃棄物是自己運搬する車両には「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条」により定められた表示を行うとともに、その運搬車に必要な書面を備え付けること。（同法施行規則第７条の２第３項及び第７条の２の２）
- アスベストの処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令と併せて「札幌市特定粉じん排出等作業における飛散防止対策マニュアル（事業者向け）」に従い、必要な措置をすること。

- URL: www.city.sapporo.jp/kankyo/taikei_osen_kisei/
asbesto/syori.html)
1. 事前調査等
- (1) 施工計画書の作成にあたっては、「アスベスト調査票」並びに「当該施設のしゅん功図等」を貸与するので、図面及び現場の目視調査で施工場所におけるアスベスト及びその他有害物質の有無を確認すること。
- (2) アスベスト及びその他有害物質の使用が不明な見え隠れ部分の調査については、保護具を着用して、必要に応じて建材を湿潤に保ちながら手ばらしで行い、新たにアスベスト及びその他有害物質を発見した場合には、速やかに作業を中止し、監督員と施工方法等について協議すること。
- (3) 電気機器にもアスベストが含まれている恐れがあるため、調査を行うこと。
- (4) 事前調査が完了した際は、石綿障害予防規則及び大気汚染防止法に基づき、以下のとおり各種報告等を行うこと。
- ① 監督職員に事前調査の結果等を書面で交付し、説明すること。
- ② 労働基準監督署及び札幌市（環境局）に事前調査の結果等について報告を行うこと。
- ③ 事前調査の結果等については、公衆に見やすいように掲示すること。
2. アスベスト含有製品の処理等
- (1) アスベスト含有製品の仕様
- 機器類（機器： 台）
○ 耐火二層管 ○フランジ・パッキン ○ダクト・パッキン
○ 外壁塗装下地調整剤 ○内壁塗装下地調整剤
○ 石綿セメント板 厚さ mm
○ 化粧石綿セメント板 厚さ mm
○ 吸音穴あき石綿セメント板 厚さ mm
○ 石綿セメントサイディング 厚さ mm
○ 石綿セメント珪酸カルシウム 厚さ mm
○ 化粧石綿セメント珪酸カルシウム 厚さ mm
○ 押出成形セメント板 厚さ mm
○ ビール床タイル 厚さ mm
○ その他 厚さ mm)
処理を行う範囲は、図示による。
- (2) 施工調査
- アスベスト含有製品の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項に行う。調査結果は、図面により記録し、監督員に提出する。
- ① アスベスト含有製品使用部位の確認
② アスベスト含有製品の種類、厚さ等の確認
③ アスベスト含有製品使用数量の確認
④ 施工範囲等の確認
- なお、含有製品の使用部位、種類または使用範囲等に変更が生じた場合は、監督員と協議のこと。
- (3) 作業管理者
- 「石綿作業主任者」又は平成18年3月以前の「特定化学物質等作業主任者」等の資格を有する作業管理者を選任し管理させること。

- #### 4 作業標準
- アスベスト含有製品処理作業の標準
- ① アスベスト含有製品の撤去
- (ア) アスベスト含有製品の撤去は、内装材及び外部建具等の撤去に先がけて行う。
- (イ) 建物内部で撤去作業を行う場合は、外部建具を閉鎖するとともに、ガラスの破損箇所又は換気扇枠等で粉じんが外部に飛散する恐れがある箇所をビニールシート等で塞ぐものとする。
- (ウ) アスベスト含有製品の撤去は、可能な限り破損又は破断を伴わない方法で行うものとし、原則として「手ばらし」とする。なお、建物外部のアスベスト含有製品を撤去する場合は、出来る限り原形のまま撤去する。
- (エ) 撤去作業中は、放水その他の方法により、アスベスト含有製品を常に湿潤な状態として作業を行う。
- (オ) 撤去作業者には、防じんマスク、防護メガネ及び作業衣を着用させる。
- (カ) 撤去作業後、アスベスト含有製品の破片、破断粉及び作業衣等に付着した粉じんが残存しないよう、真空掃除機等により、清掃及び後片付けを十分に行う。
- ② アスベスト含有製品の集積、運搬等
- (ア) 撤去したアスベスト含有製品の集積及び積み込みにあたっては、高所より投下しないこと、他、粉じんの飛散防止に努める。
- (イ) 細かく破砕されたアスベスト含有製品は、湿潤化の上、丈夫なビニール袋に入れる等、飛散防止の措置を講じる。
- (ウ) 撤去したアスベスト含有製品を運搬するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、一般の内装材と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止の措置を講じる。また、保管場所には、アスベスト含有製品と保管場所であることの表示を行う。
- (エ) アスベスト含有製品の運搬にあたっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。
- (オ) アスベスト含有製品の撤去、集積、積み込み及び保管等の処理が完了した場合は、速やかに監督員に報告し、確実に処理されたかの確認を受ける。
- ③ アスベスト含有製品の処分等
- (ア) アスベスト含有製品は、「3. 発生材の処理」で示す処分場で処分する。なお、マニフェストには、アスベスト含有製品であることを明示する。
- (イ) 撤去されたアスベスト含有製品の処分が完了した場合は、マニフェストを監督員に提出し、処分が確実に行われたことの確認を受ける。
- #### 発生材の処理
- 本工事で発生する建設副産物の処理方法、処分場所等への処理条件は下記のとおりとする。なお、変更が生じた場合は監督員と協議のこと。
- 処分施設への搬出（調査を監督員に提出する。）
- 飛散性アスベスト
搬出先（参考）・山口処理場（手稲区手稲山口364）
- 非飛散性アスベスト成形板
搬出先（参考）・角山開発㈱（江別市角山425番地）

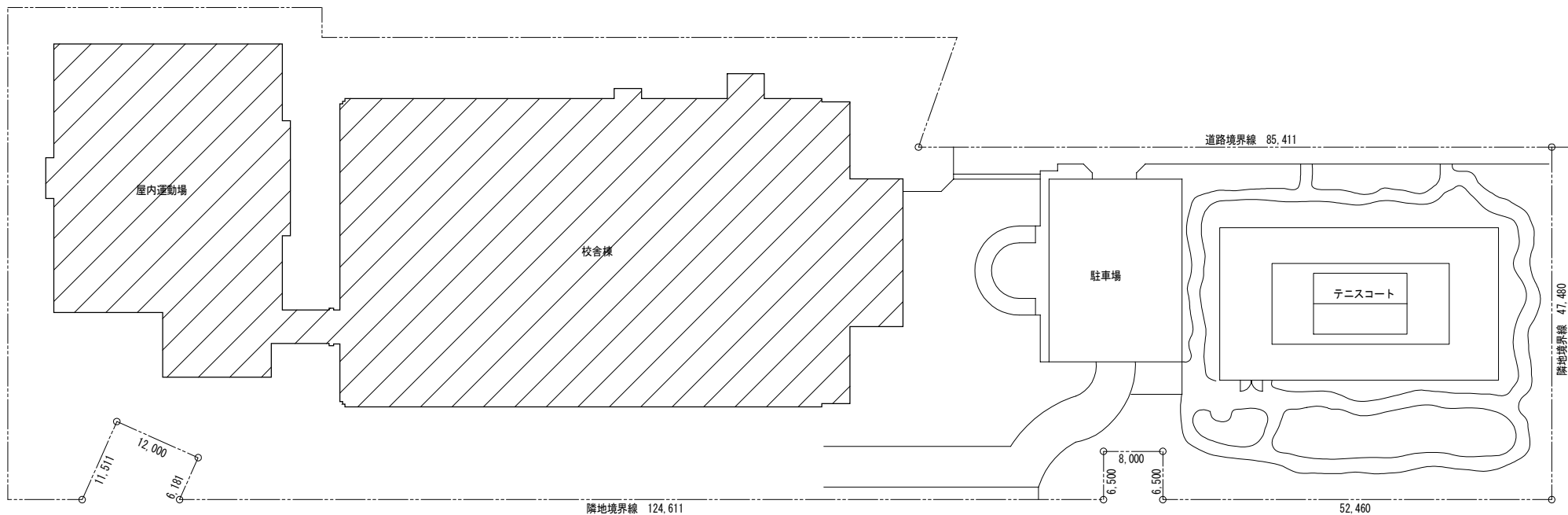
4. P C B含有機物の処理等
- (1) P C B含有の恐れがある機器については、機器の製造メーカーからP C B
不含有証明書を入手すること、専門機関でP C Bの分析試験を行い、P C B含有
の有無を確認すること。
- (2) P C Bの混入が認められない場合は、不含有証明書または分析試験成績書等
を添付の上、産業廃棄物処理業者により適正処理を行うこと。
なお、機器を処理する前には、必ず監督員及び、特別管理産業廃棄物管理
責任者の両者に証明書並びに成績書の確認を受けた上で処理を行うこと。
- (3) P C Bの混入が認められた場合は、「特別管理産業廃棄物」となるため、
処理を中止し、監督員と協議の上、必要な措置を講ずること。
- 揮発性有機化合物含有物に含有しているおそれのある材料については安全データシート
等により確認を行い、極力揮発性有機化合物が少量の材料、または含有していない
材料の使用に努めること。
- 使用する材料はF☆☆☆☆等の規制対象外材料を基本とし、該当する材料がない
場合は、F☆☆☆☆又は同等品とすること。
- また、施工時・完了後引渡し前においては、揮発性有機化合物の放散を促進する
ため、繰り返し換気を行わなければならない。
- 対象工事
- 測定対象工事の受注者は、検査機関（計量法第122条に定める計量士を配置し、計量
法第107条に定める計量師等による登録を行っている機関等）に依頼し揮発性有機化合
物の室内濃度測定を行い、基準値以下であることを確認の上、測定結果の報告書等を

- 監督員に提出しなければならない。
- (１) 測定物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、
 スチレン、パラジクロロベンゼン
- (２) 測定方法
 札幌市公共建築物シックハウス対策指針及び同解説を参照し、拡散法（パッシブ法）より測定する。
- (３) 測定時期及び箇所 （測定位置等は監督員と協議のこと）
 ○施工前 箇所 ○施工後 箇所



札幌市清田区北野4条4丁目

付近見取図



配置図 1 : 400

改修建物を表す。

株式会社 テクノクルー

1級建築士事務所 北海道知事登録 (石) 第5592号

主任設計者	主任技術者	
平岡	平岡	

管理建築士
1級建築士 登録 第158666号
管野 龍雄

DATE
R6.10.31
DATE

工事名
北野台中学校照明設備改修工事

図名
付近見取図・配置図

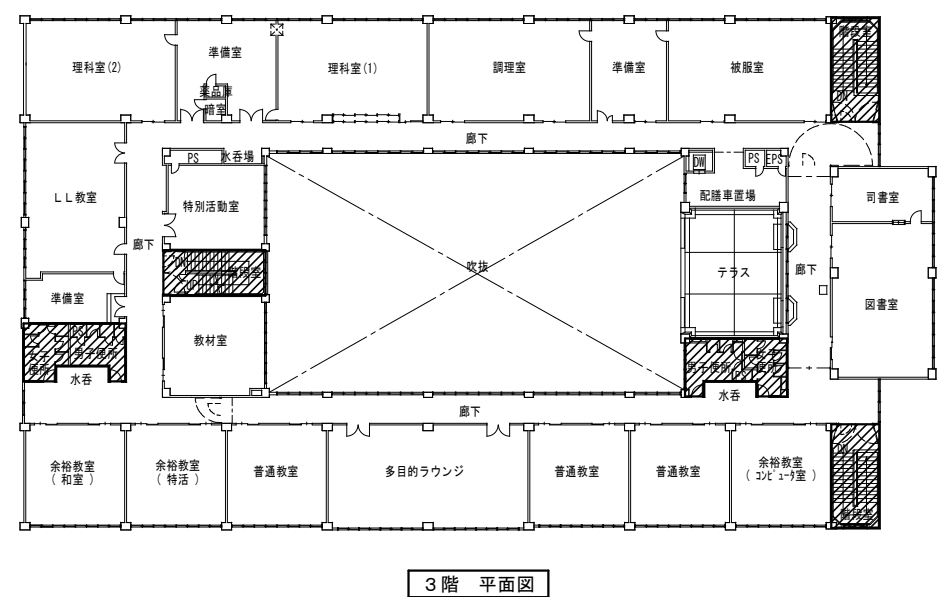
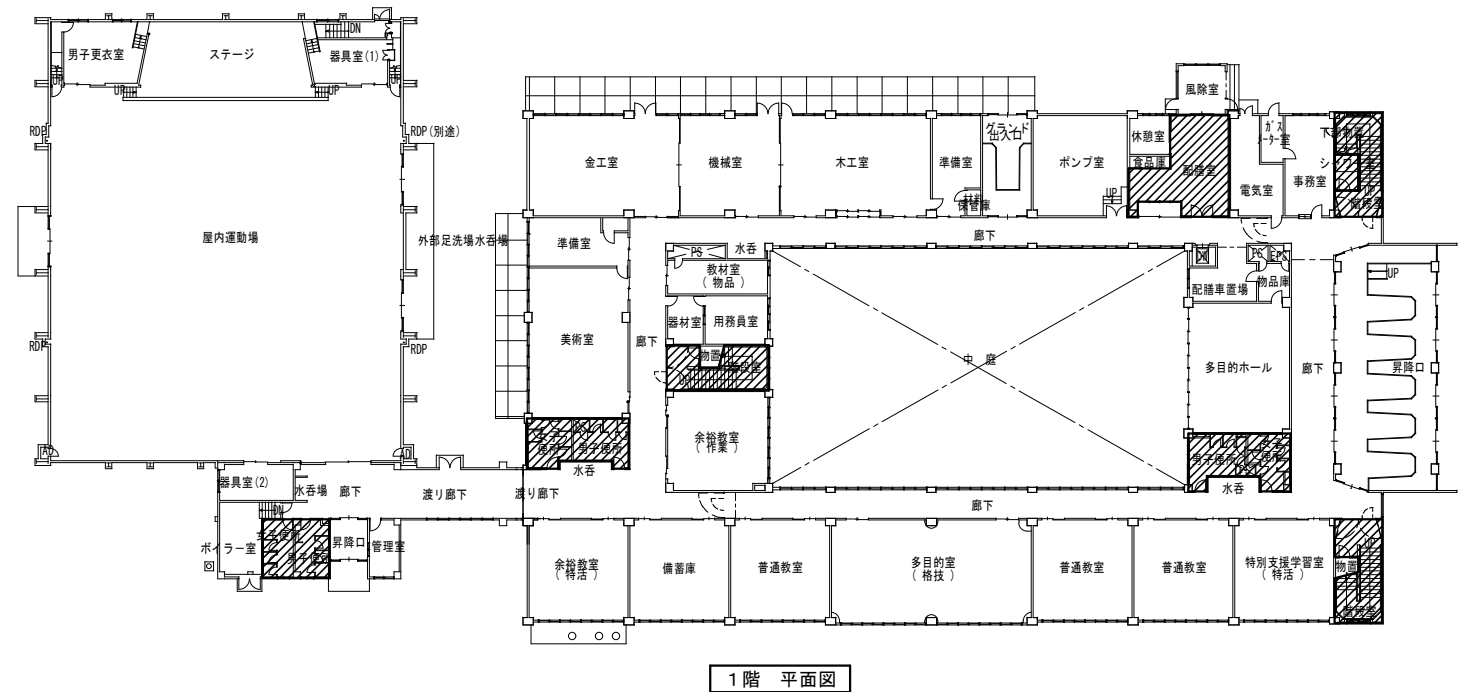
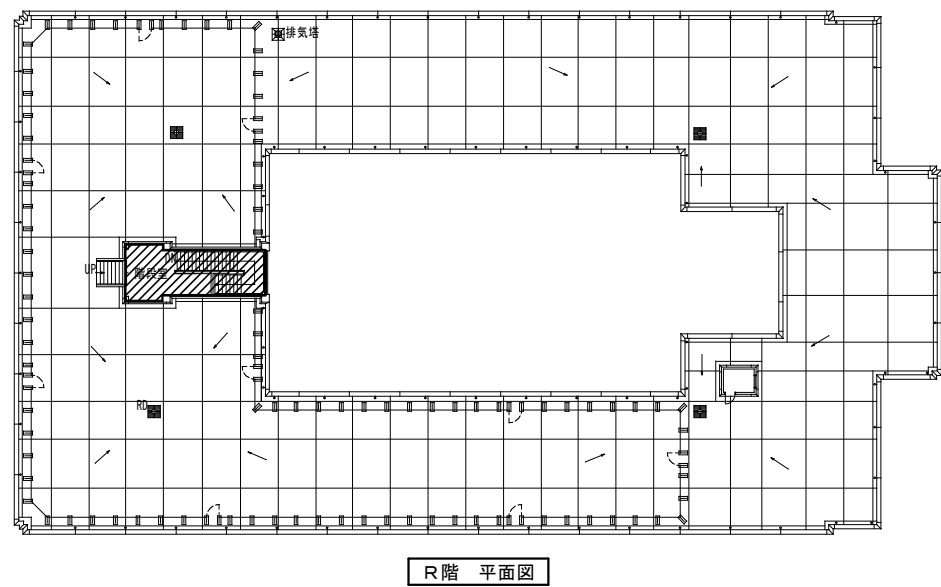
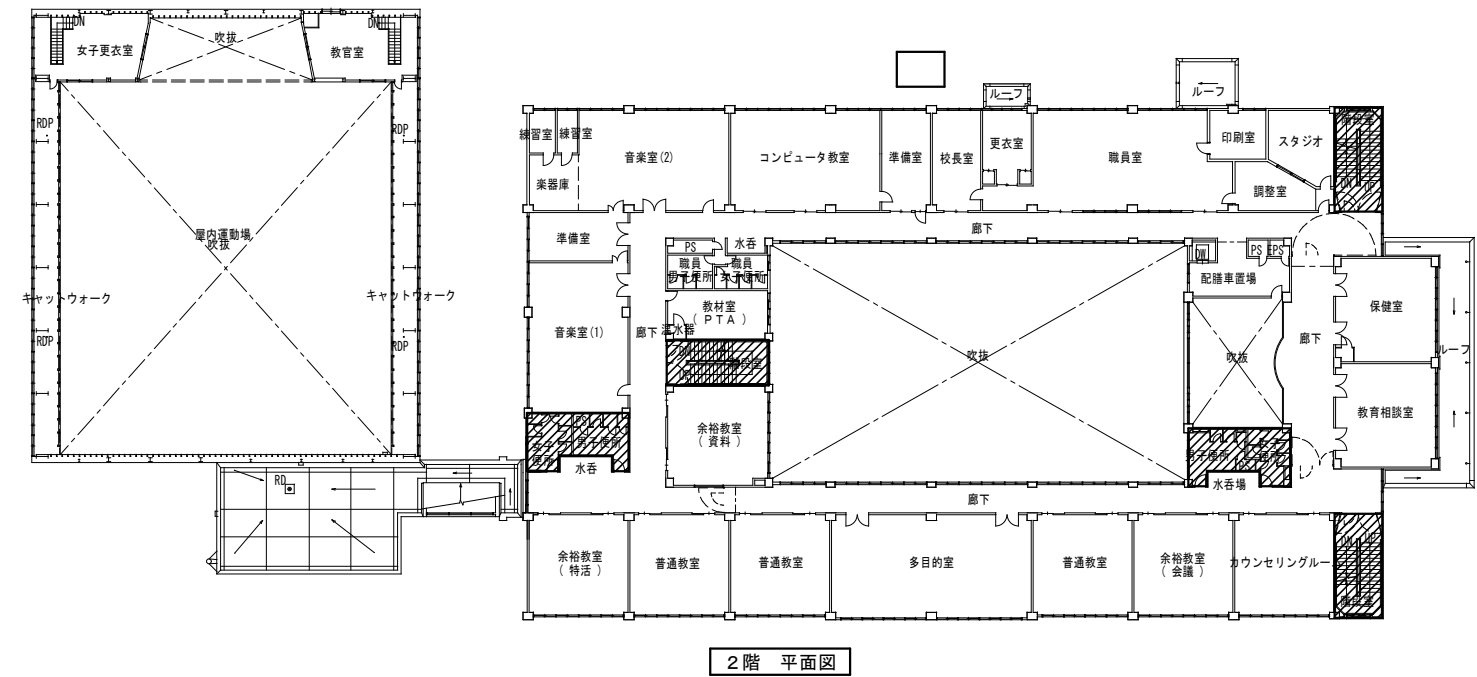
SCALE
A1 : 1/400
A3 : 1/800

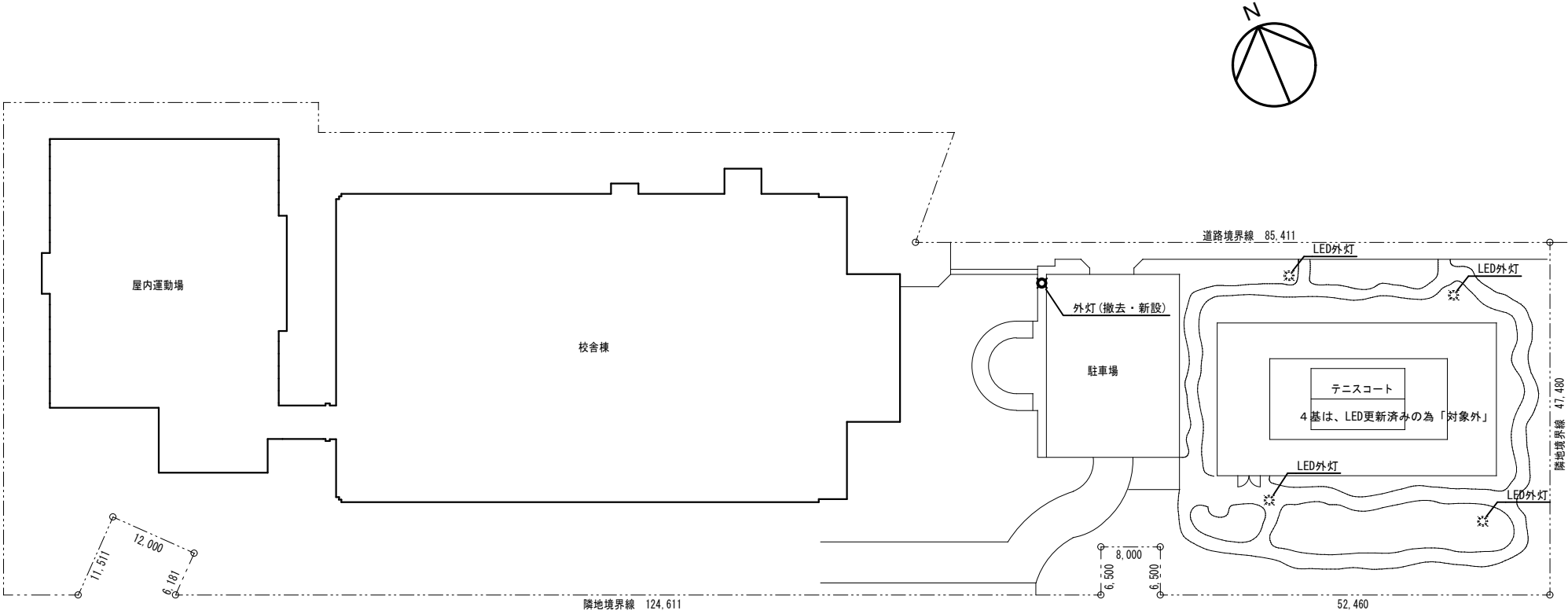
図面番号

03 / 18

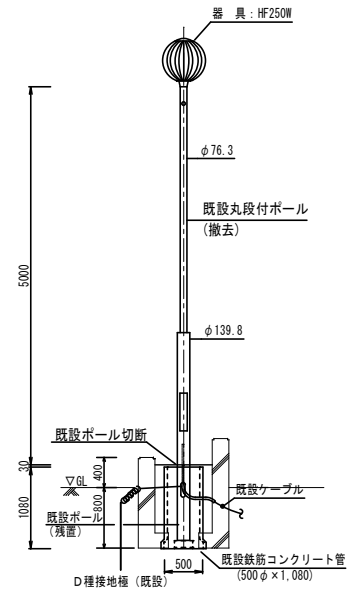
アスベストに関する特記事項

- ・図の網掛け部分  には石棉等が含まれている可能性がある箇所とする。
- ・含有の可能性のある部位は下記の通り
 - ・校舎 階段室の天井蛭石吹付材（レベル3含有）
 - ・校舎 配膳室、シャワー室、便所天井材の硬質石棉板
 - ・屋連 便所天井材の硬質石棉板
- ・アスベストが含まれている可能性のある箇所の器具更新は既設吊りボルトを再利用すること。

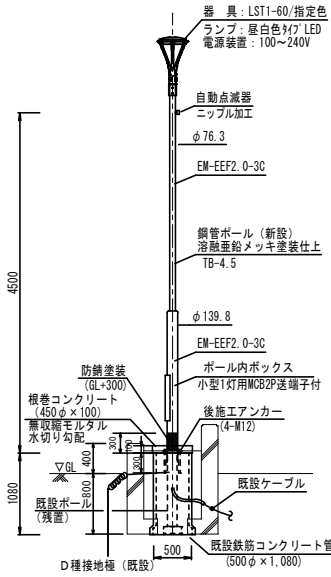




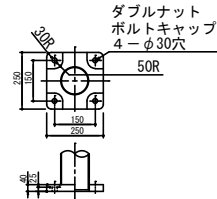
外構図 1 : 400



撤去 外灯詳細図 S=1/50



新設 外灯詳細図 S=1/50

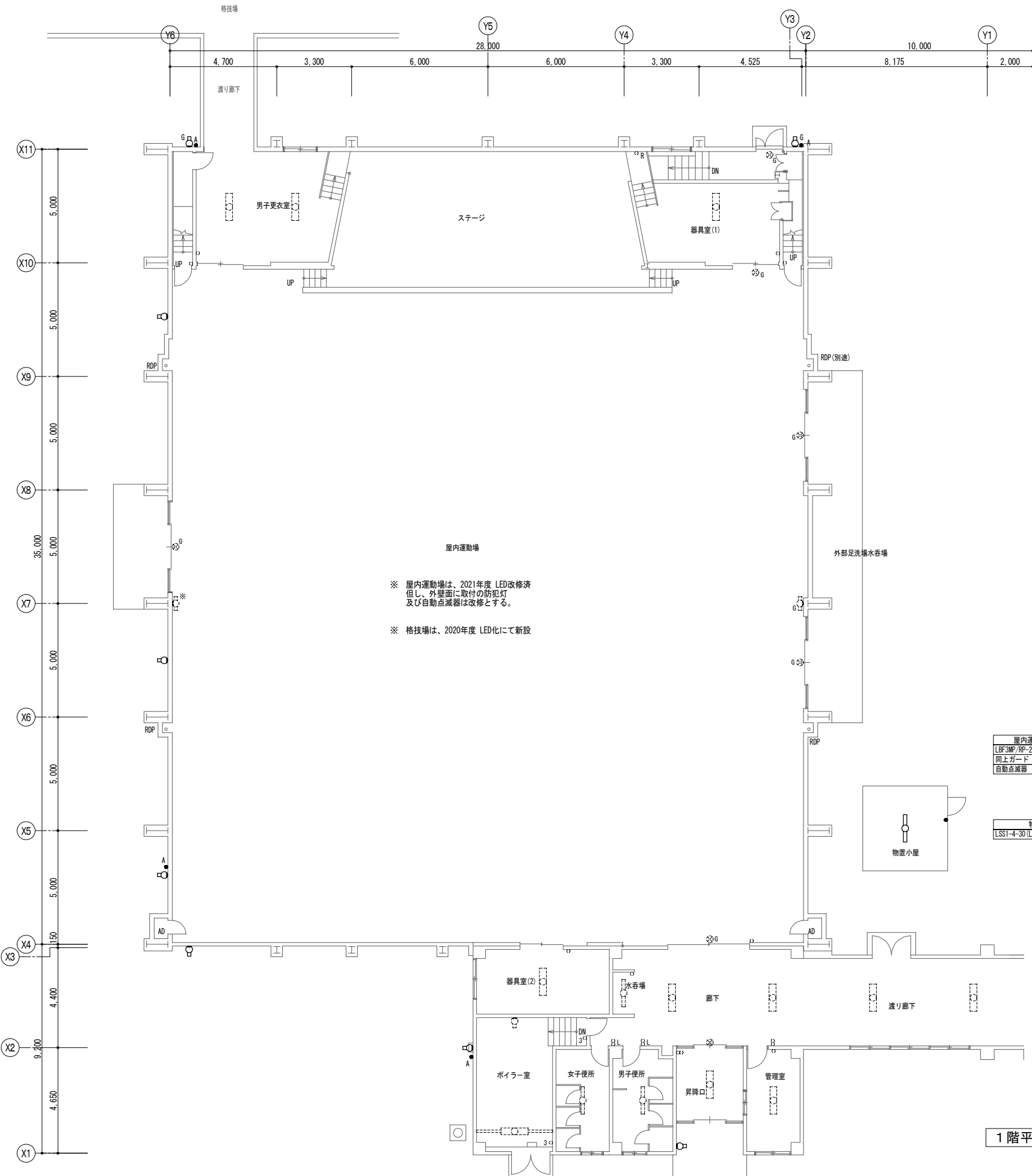


ベースプレート参考図

新設 外灯	
LST1-60 LJ	80W以下

外灯		
改修後	灯具 : LST1-60、ポール : TB4.5	(新設)
	自動点滅器、ポール内ボックス	(新設)
	EM-EEF 2.0-3C (ポール内)	(新設)
	基礎 : (500φ×1,080)	(既設)
改修前	灯具 : HF 250W×1	(撤去)
	ポール : L=5,000(地上高)	(撤去)
	自動点滅器	(撤去)
	基礎 : (500φ×1,080)	(既設)

※アンカー引抜き試験を実施すること。
※寸法は参考値とする。



※ 屋内運動場は、2021年度 LED改修済
但し、外壁面に取付の防犯灯
及び自動点滅器は改修とする。

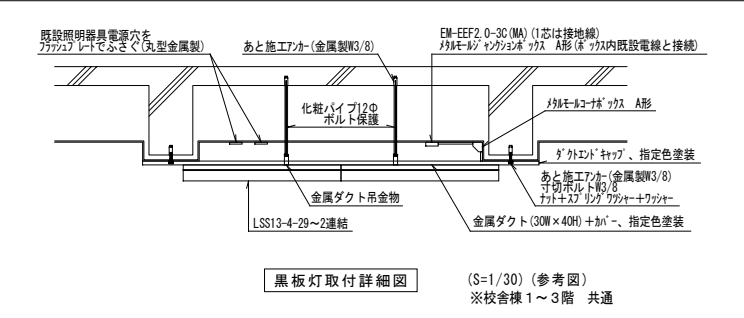
※ 格技場は、2020年度 LED化にて新設

屋内運動場 外周灯	
LEF3MP/RP-2-13(LN)	8
同上ガード G15(φ)	2
自動点滅器	4

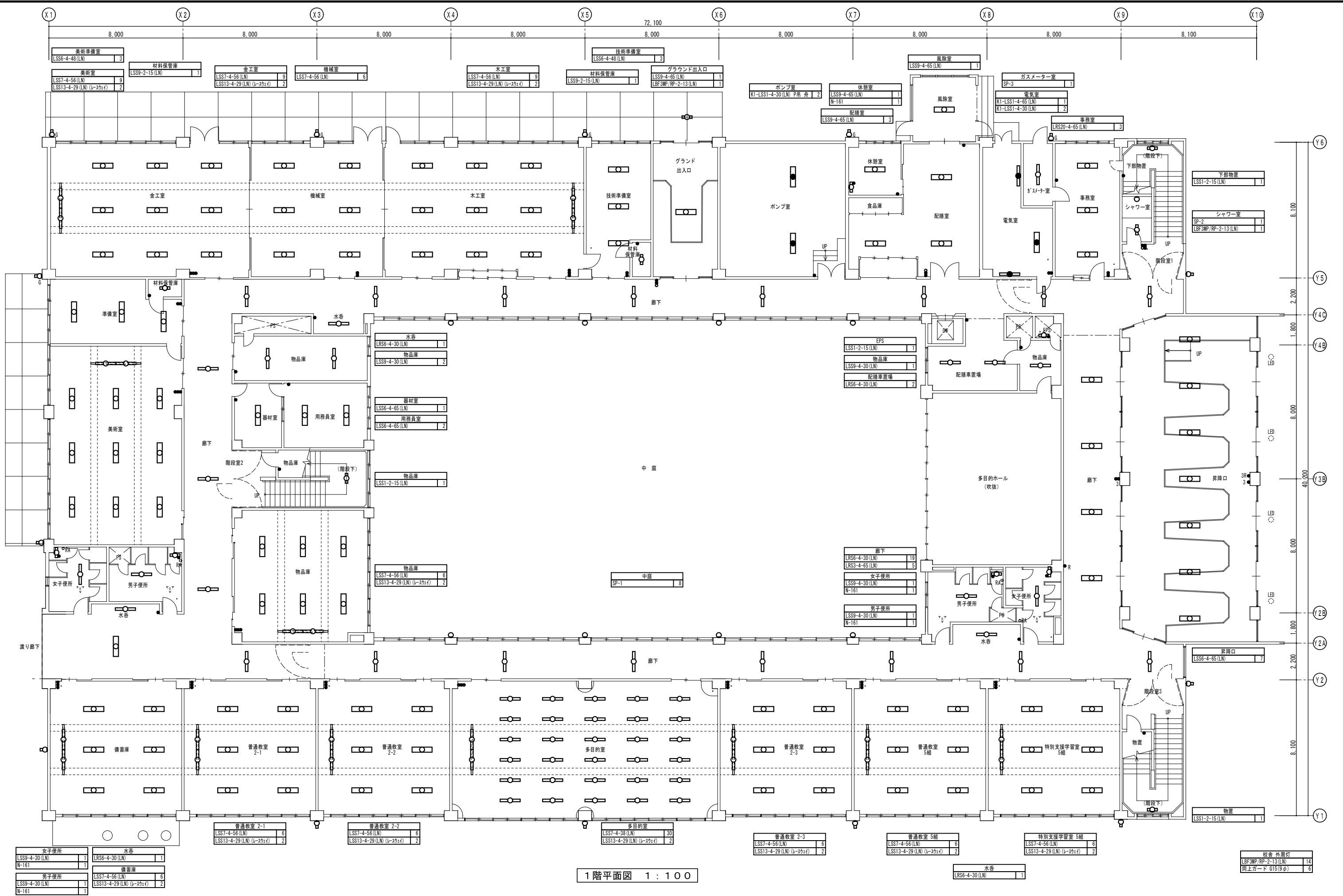
物置小屋	
LSS1-4-30(LN)	1

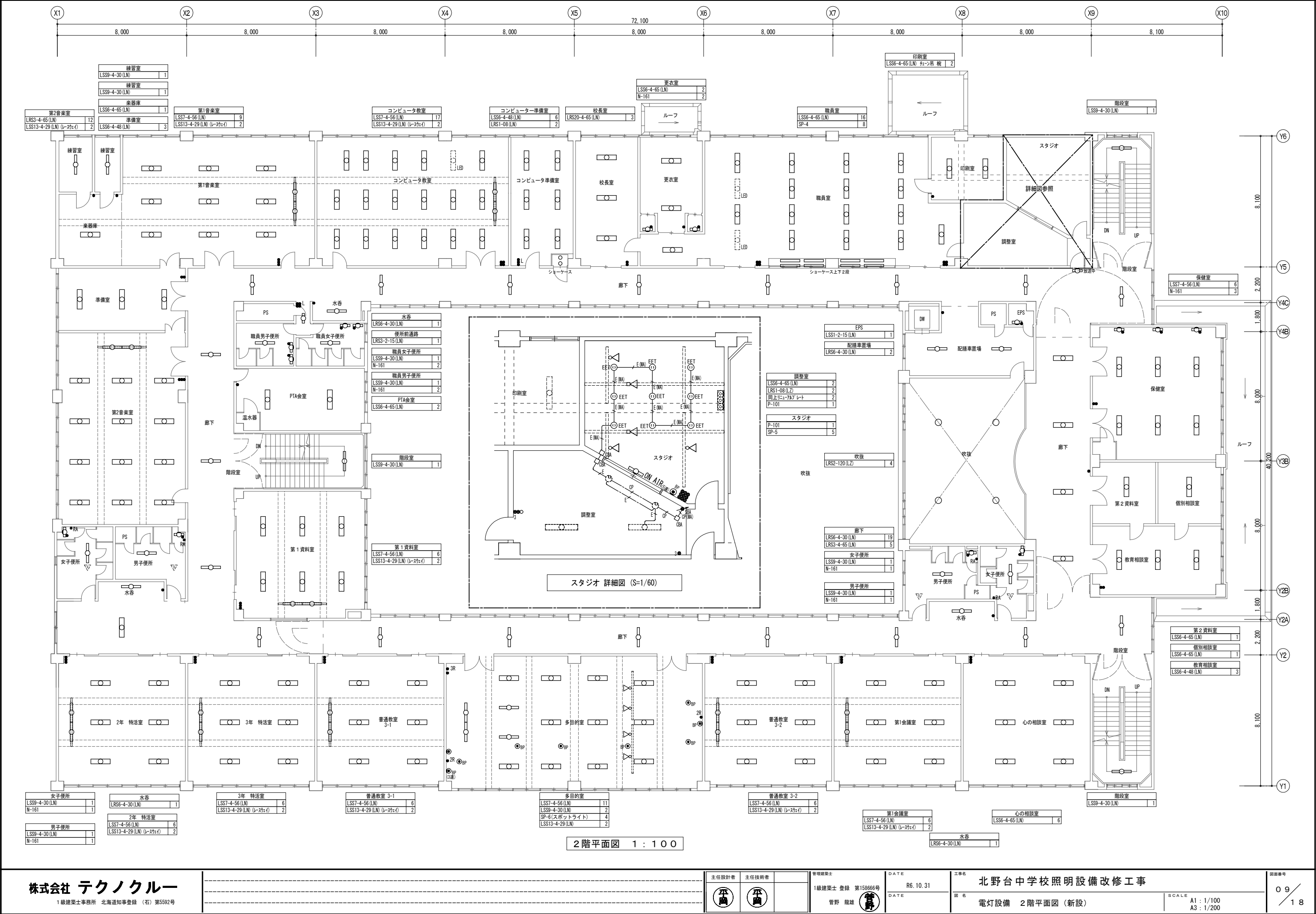
1階平面図 1 : 1 0 0

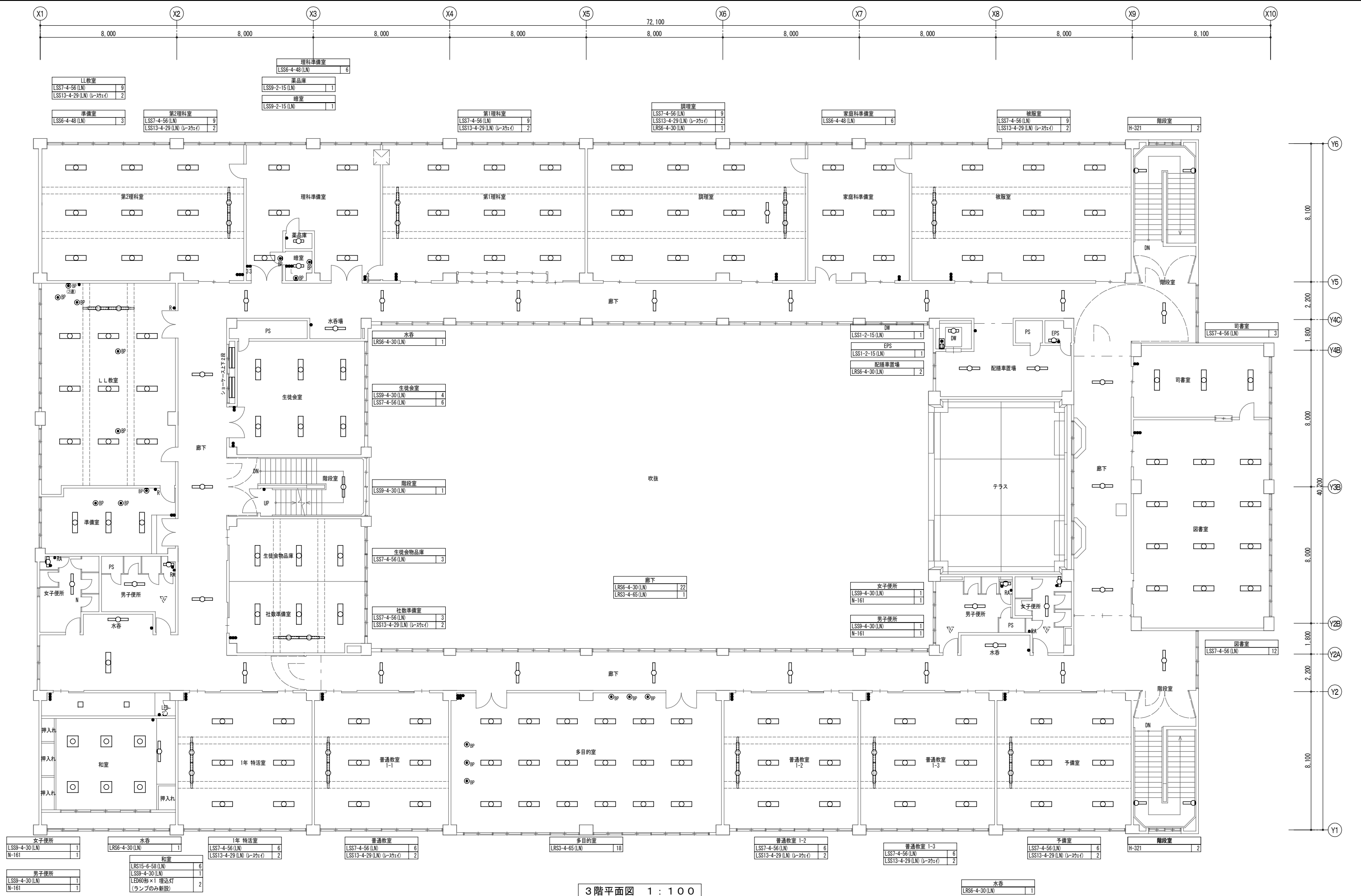
凡 例			
記 号	名 称 ・ 仕 様		備 考
●	埋込スイッチ	1P15A×1 (ネム付) 金属P	新設
○	埋込スイッチ	PL (ネム付) 金属P	新設
●L	埋込スイッチ	1P15A(ON表示)×1 (ネム付) 金属P	新設
●3	埋込スイッチ	3W15A×1 (ネム付) 金属P	新設
↗	調光スイッチ	LED用 (ネム付) 金属P	新設
●R	リモコンスイッチ	2線式	新設
●A	自動点滅器	3A 埋込型	新設
●RA	熱線式自動スイッチ		対象外
人	人感センサー		対象外
⊙ EET	埋込コンセント	2P15A×1 E-E付 抜止	金属P 新設
⊙	埋込スイッチ+埋込コンセント	1P15A×1+2P15A×1	金属P 新設
⊙ BP	ブラנקプレート (壁)		新設
⊙ BP	ブラנקプレート (天井)	アクリル製 245φ	新設
□ CBA	MM1 A型 コーナーボックス		新設
SBA	MM1 A型 スイッチボックス		新設
○	LED灯20形 壁付(横向・縦向)		新設
○	LEDスクエア照明		新設
○	LED灯40形 天井付		新設
○	LED灯40形 壁付(横向・縦向)		新設
○	LED灯40形 天井付		新設
○	LED灯40形 BIT内蔵		新設
○	LED灯40形 BIT内蔵		新設
○	LEDブラケットライト 壁付		新設
○	LEDダウンライト		新設
□	スクエアダウンライト ランプのみ新設		
▽	投光器 (スポットライト)		新設
○	照明器具にスイッチを付したものは、ブルスイッチ付きを表す。		
○	照明器具にG付したものは、ガード付きを表す。		
○	照明器具にLED付したものは、LED器具を表し、今回工事対象外とする。		
【 注 記 】			
(1) 改修前に接地(E)が施されていない照明器具は、更新後において最寄りのボックスから接地(E)を施し、器具1灯当り接地線(EM-E2.0)3mを見込むこと。			
(2) 電気室の照明器具更新工事は、電気主任技術者に停電を依頼して施工すること。			
(3) 吊下器具は、全て脱着防止ワイヤーを敷設すること。(別図：取付参考図を参照のこと。)			
(4) 実線の照明器具を新設する。			
【配線凡例】			
—E—	EM-E2.0		
—BP—	EM-FCPEE0.9-1P		
—	天井こしがし		
—MA—	1種金属線び MM1A		

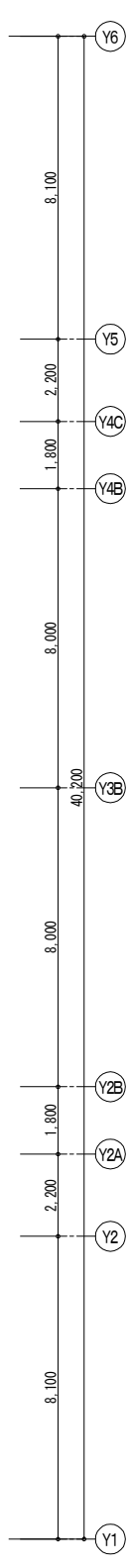
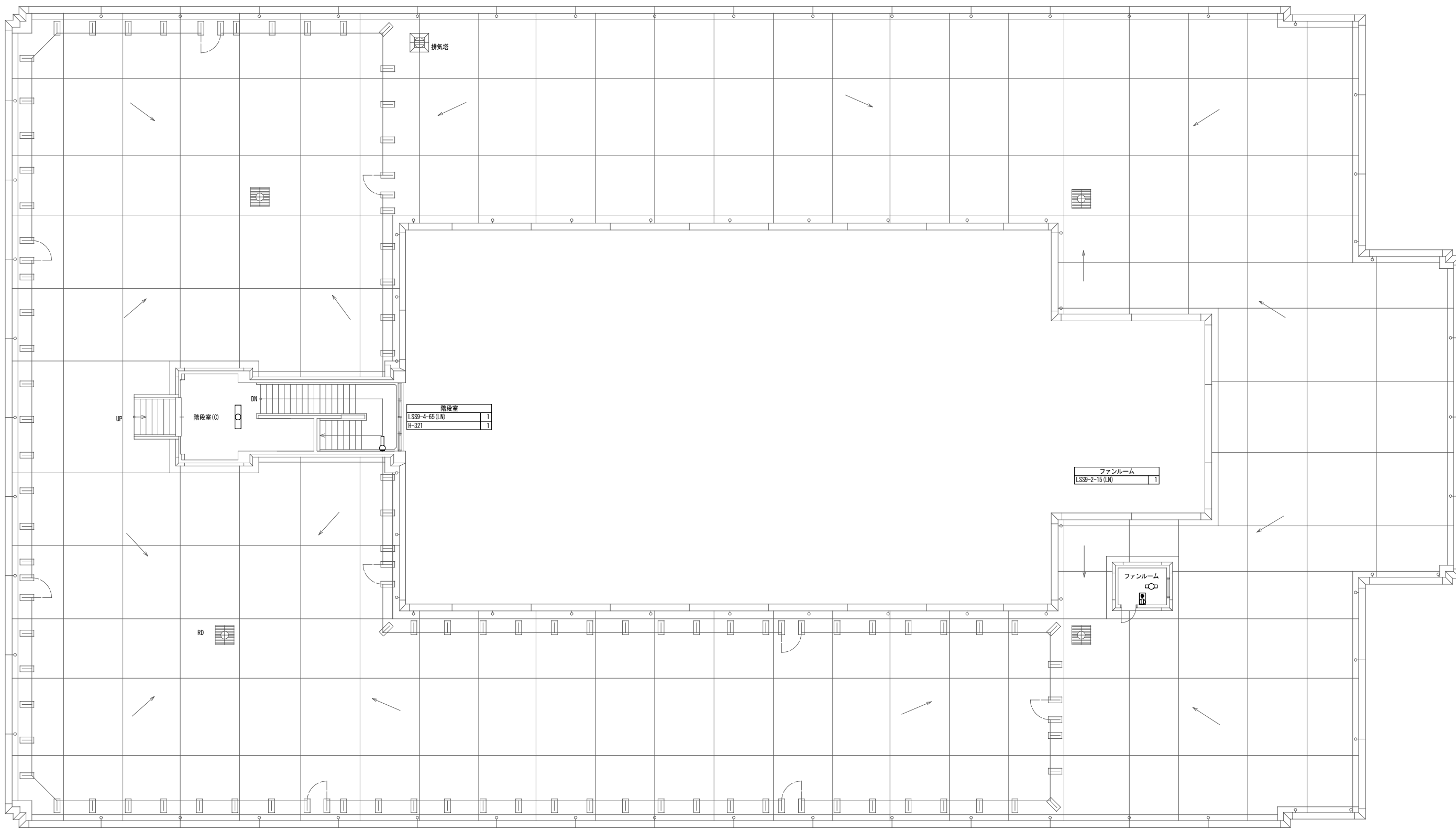
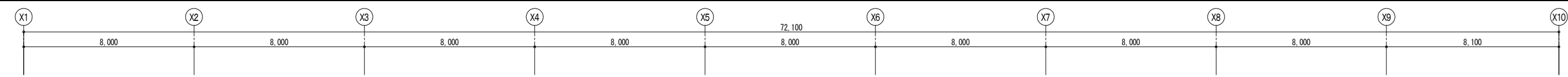




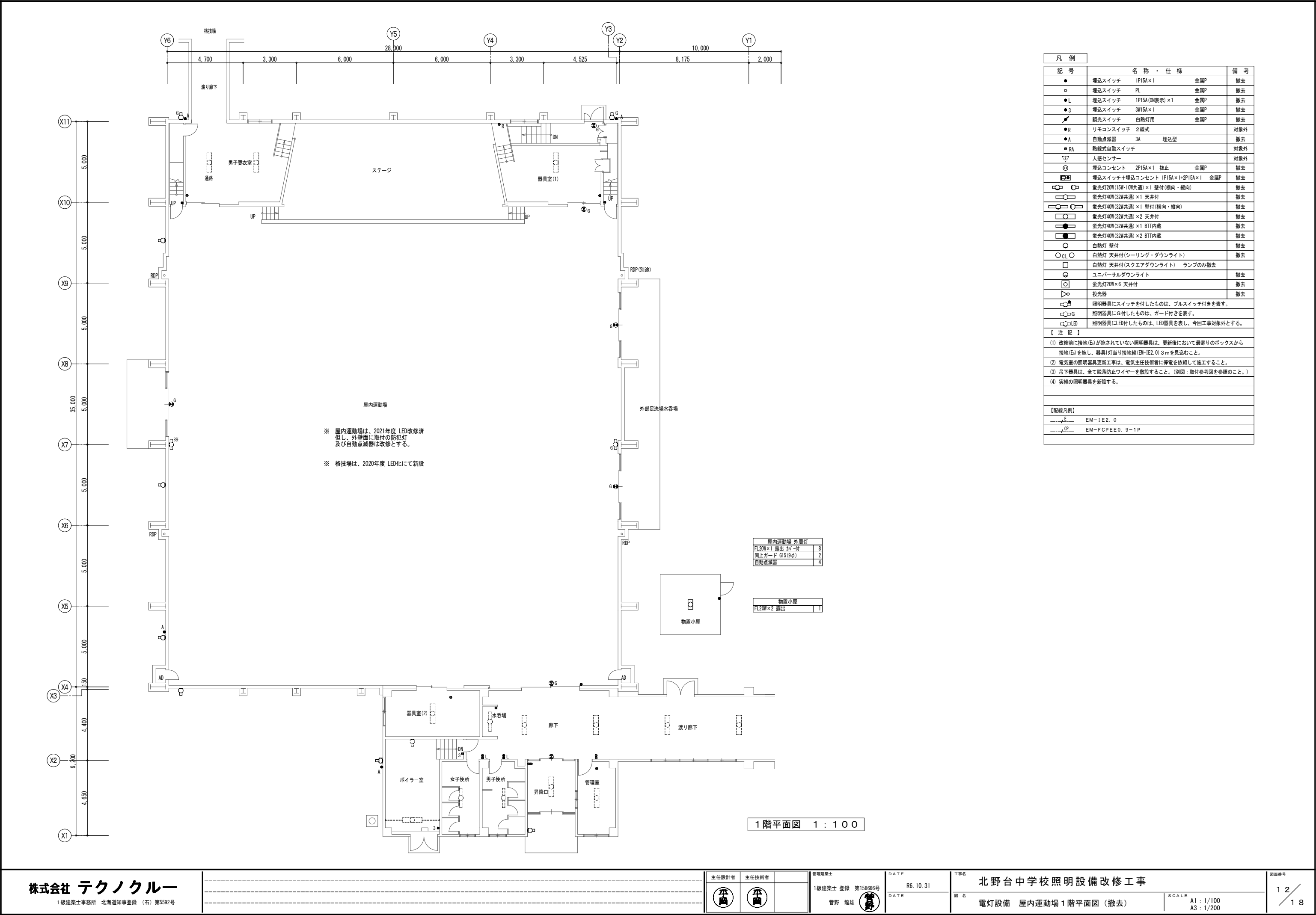




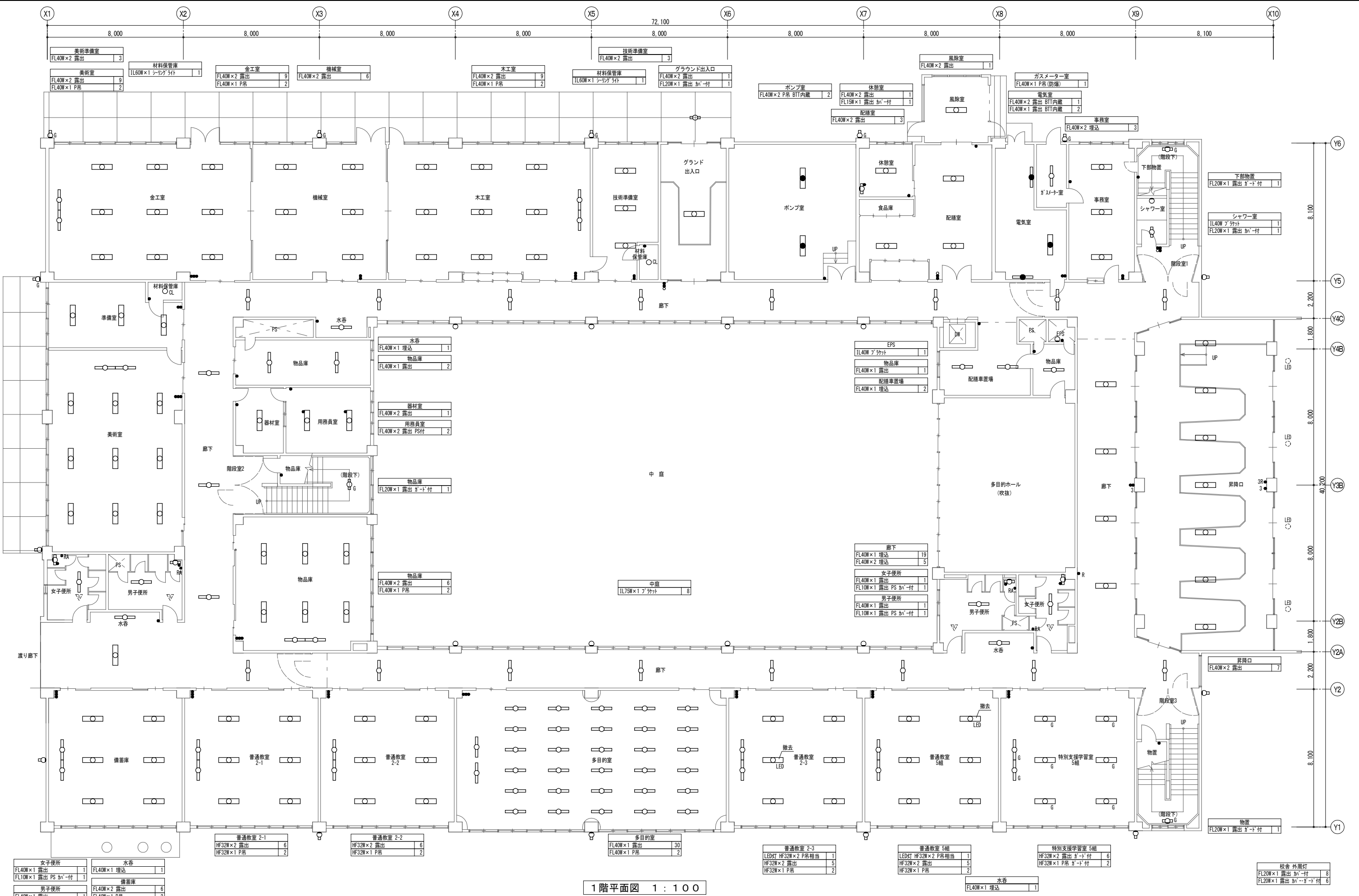




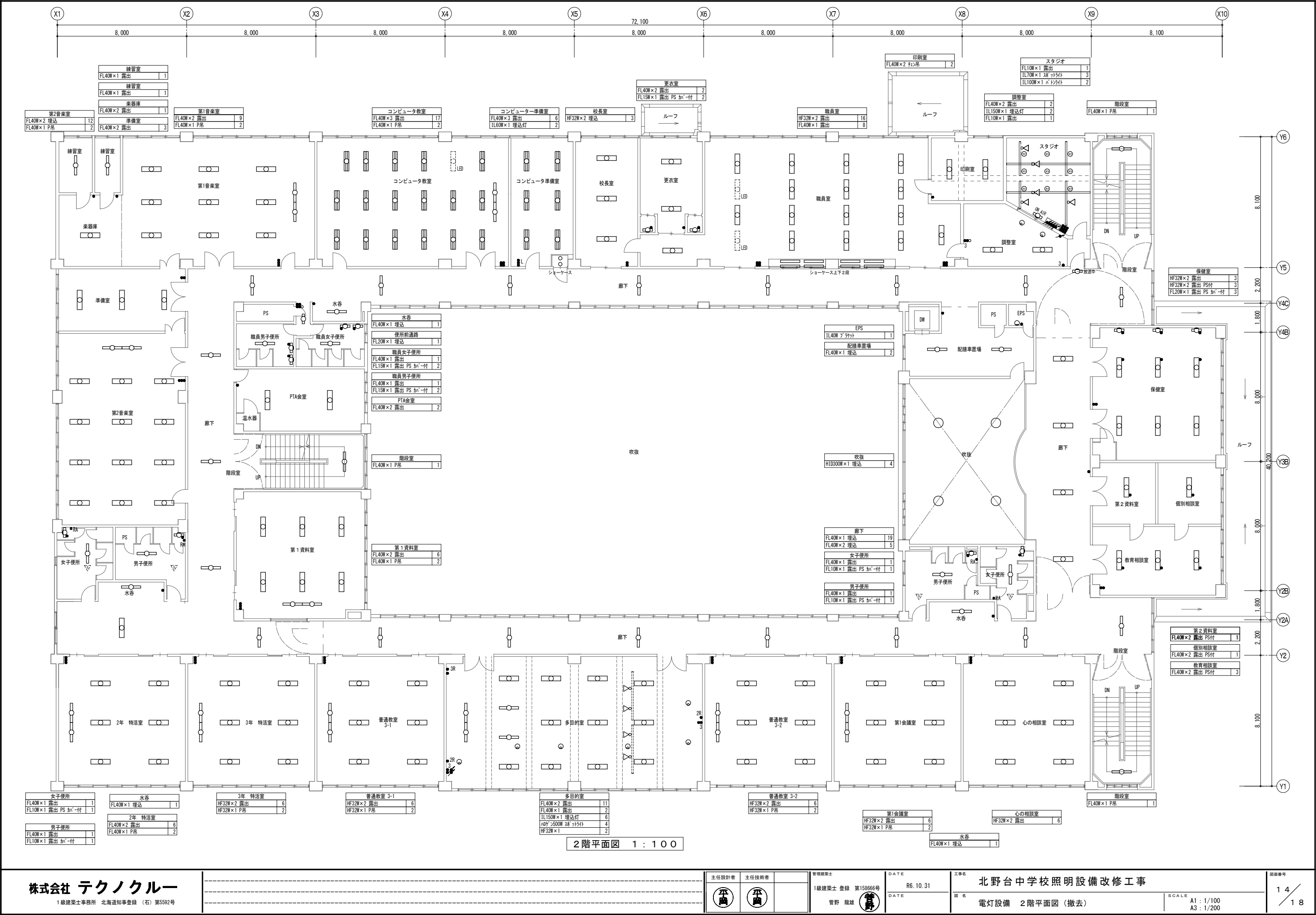
R階平面図 1 : 100

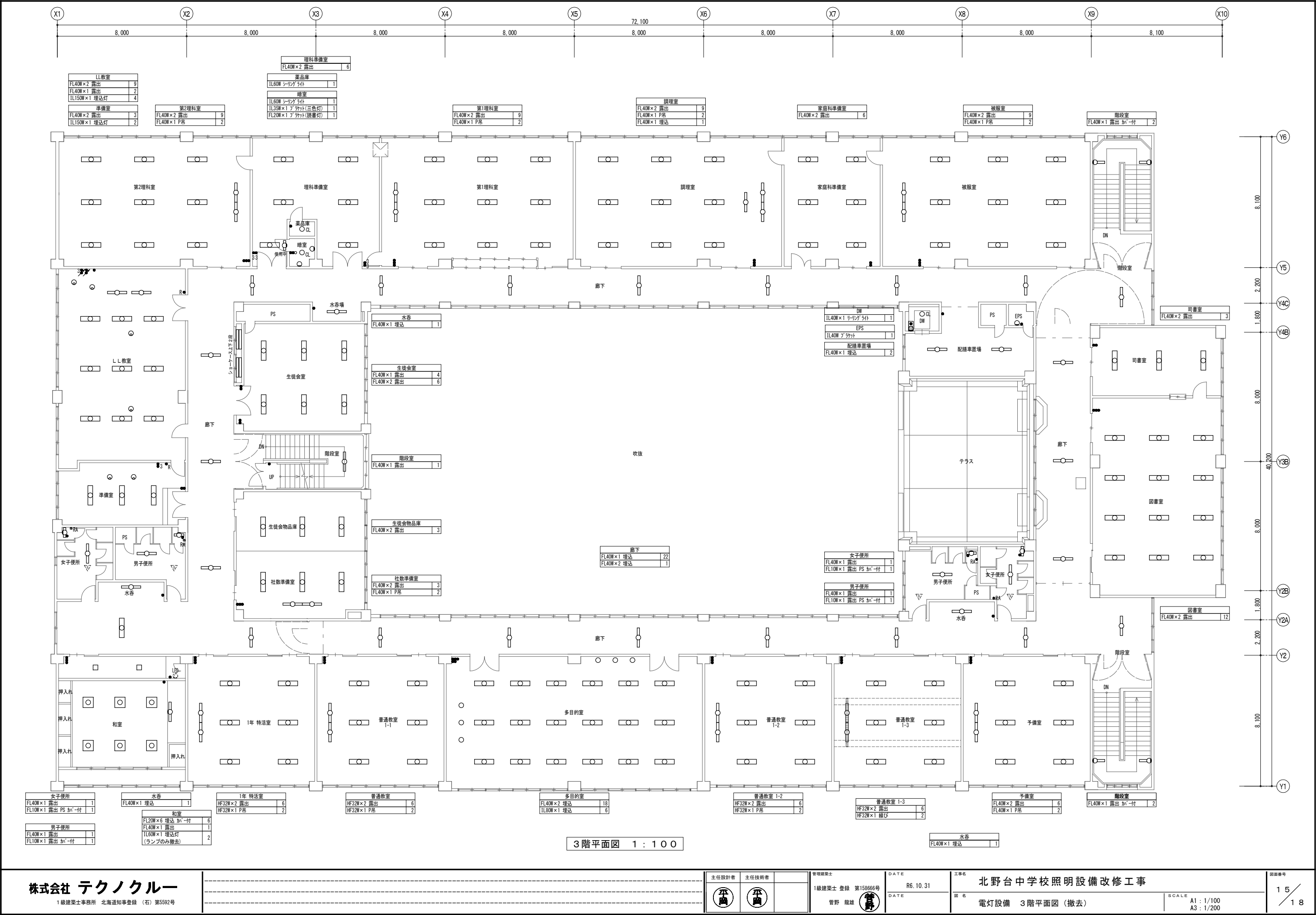


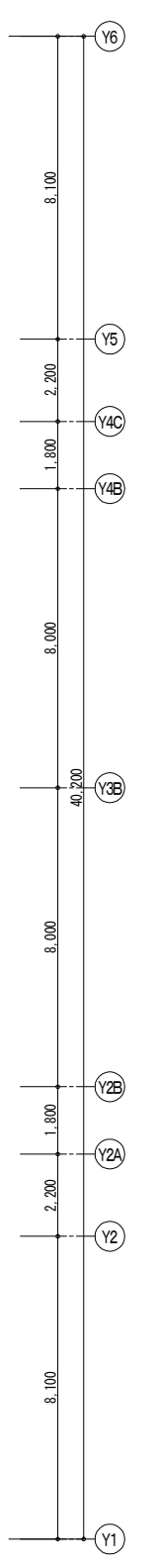
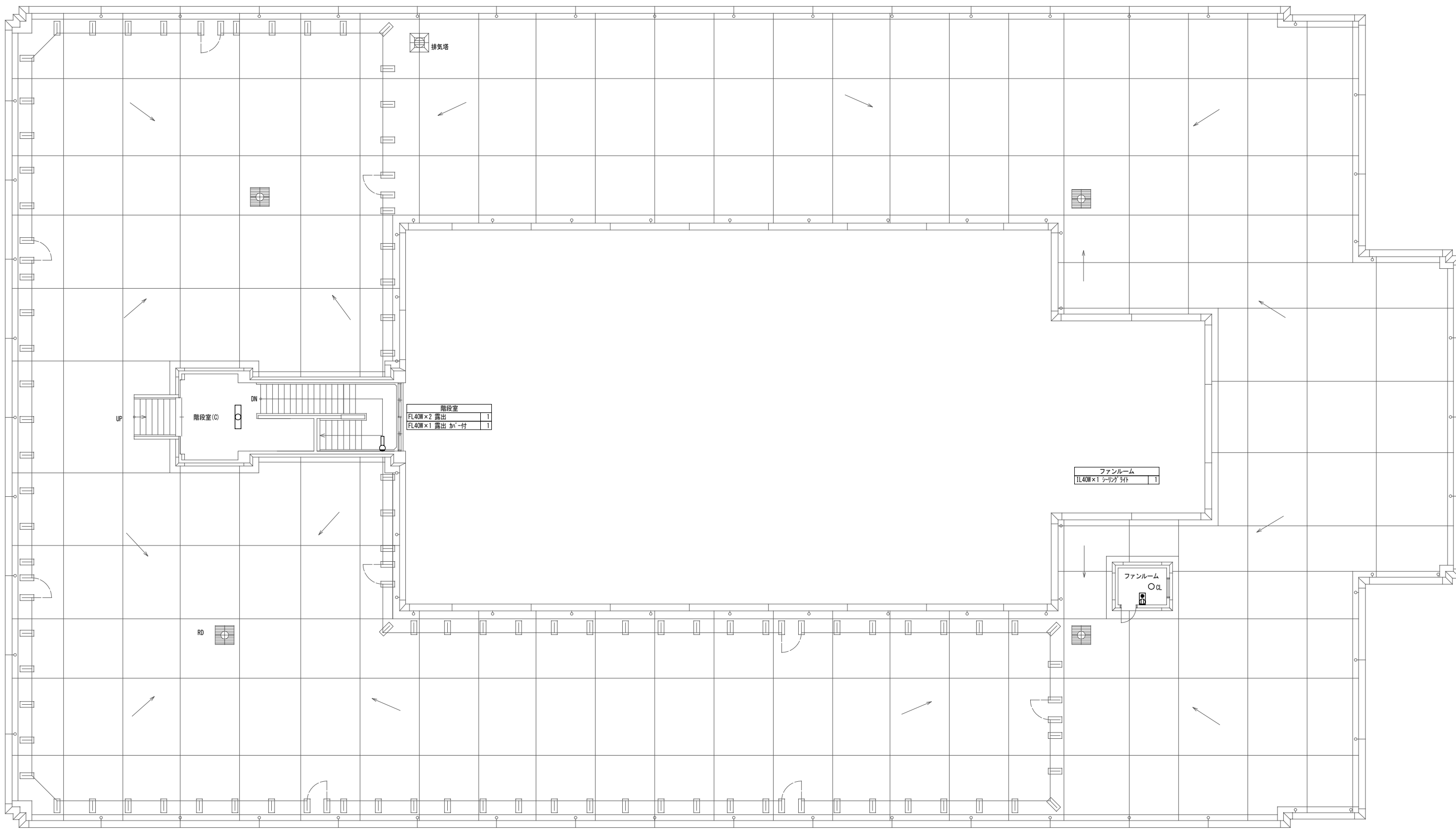
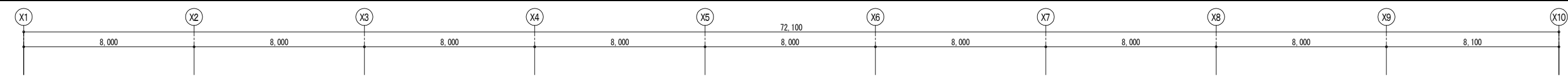
凡 例			
記 号	名 称 ・ 仕 様		備 考
●	埋込スイッチ	1P15A×1	金属P
○	埋込スイッチ	PL	金属P
●L	埋込スイッチ	1P15A (ON表示) ×1	金属P
●3	埋込スイッチ	3W15A×1	金属P
⚡	調光スイッチ	白熱灯用	金属P
●R	リモコンスイッチ	2線式	対象外
●A	自動点滅器	3A	埋込型
●RA	熱線式自動スイッチ		対象外
人	人感センサー		対象外
⊙	埋込コンセント	2P15A×1	抜止
⊙	埋込スイッチ+埋込コンセント	1P15A×1+2P15A×1	金属P
⬡	蛍光灯20W (15W・10W共通) ×1	壁付 (横・縦向)	撤去
⬡	蛍光灯40W (32W共通) ×1	天井付	撤去
⬡	蛍光灯40W (32W共通) ×1	壁付 (横・縦向)	撤去
⬡	蛍光灯40W (32W共通) ×2	天井付	撤去
⬡	蛍光灯40W (32W共通) ×1	BTT内蔵	撤去
⬡	蛍光灯40W (32W共通) ×2	BTT内蔵	撤去
○	白熱灯	壁付	撤去
○CL○	白熱灯	天井付 (シーリング・ダウンライト)	撤去
□	白熱灯	天井付 (スクエアダウンライト)	ランプのみ撤去
⊙	ユニバーサルダウンライト		撤去
⊙	蛍光灯20W×6	天井付	撤去
⊙	投光器		撤去
⊙	照明器具にスイッチを付したものは、フルスイッチ付きを表す。		
⊙G	照明器具にG付したものは、ガード付きを表す。		
⊙LED	照明器具にLED付したものは、LED器具を表し、今回工事対象外とする。		
【 注 記 】			
(1) 改修前に接地 (E) が施されていない照明器具は、更新後において最寄りのボックスから接地 (E) を施し、器具1灯当り接地線 (EM-IE2.0) 3mを見込むこと。			
(2) 電気室の照明器具更新工事は、電気主任技術者に停電を依頼して施工すること。			
(3) 吊下器具は、全て脱着防止ワイヤーを散設すること。(別図：取付参考図を参照のこと。)			
(4) 実線の照明器具を新設する。			
【配線凡例】			
—E—	EM-IE2.0		
—GP—	EM-FCPEE0.9-1P		



1階平面図 1 : 100







R階平面図 1 : 100

主任設計者	主任技術者
平岡	平岡

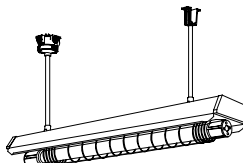
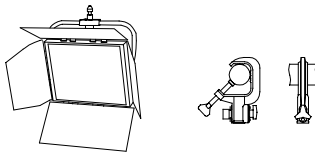
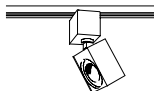
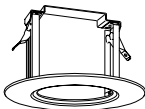
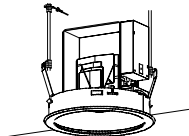
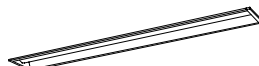
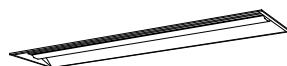
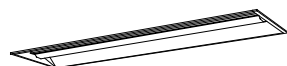
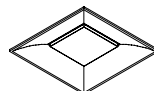
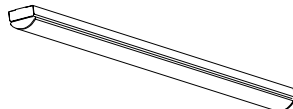
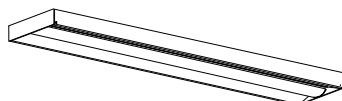
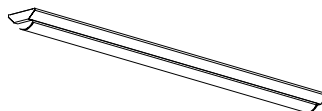
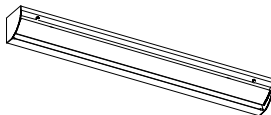
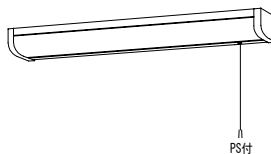
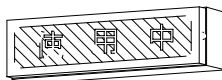
管理建築士
1級建築士 登録 第158666号
管野 龍雄

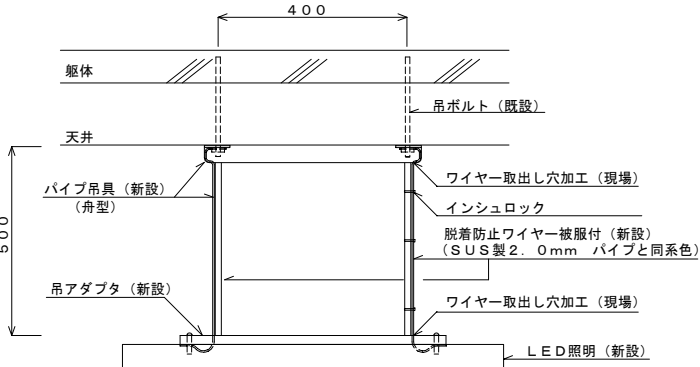
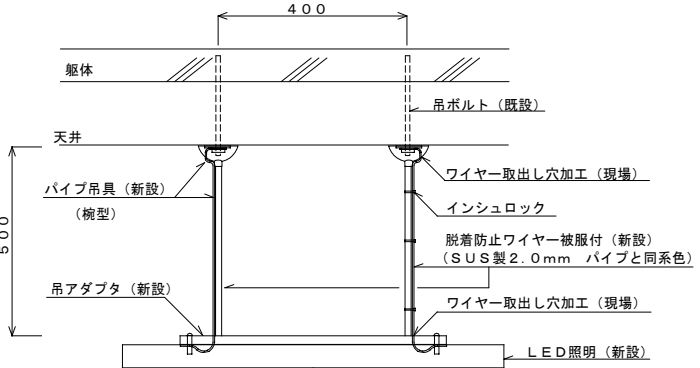
DATE	R6.10.31
DATE	

工事名	北野台中学校照明設備改修工事
図名	電灯設備 R階平面図 (撤去)

図面番号	16 / 18
------	---------

SCALE	A1 : 1/100 A3 : 1/200
-------	--------------------------

スポットライト			ブラケットライト			耐圧防爆型LED器具 吊下形			シームレス建築部材照明器具			フラッドライト			LEDスポットライト		
SP-1	150形ハイズム電球1灯器具相当	15W以下	SP-2	60形電球1灯器具相当	10W以下	SP-3	HF蛍光灯32形1灯器具相当	24W以下	SP-4	エンド用器具(送りなし)直付型	12W程度	SP-5	LEDフラッドライト	53W程度	SP-6	100形グイール電球1灯器具相当	10W以下
防雨タイプ			防雨タイプ						※電源挿入用コネクター共 L=1, 200タイプ								
LED照明 器具光束 950(lm) 以上 電圧 100V 7mm径 10mm径 (ブラケット)			LED照明 器具光束600(lm) 以上 電圧 100V カバー: プラスチック(乳白)、ホワイ			LED照明 器具光束2300(lm) 以上 本体: ステンレス板 側板: 7mm径 10mm径 ランプ 保護カバー: 硬質ガラス			LED照明 色温度: 5000K、電圧: 100V 器具光束: 1450(lm) 程度 本体: ホワイネット(乳白) カバー: ホワイネット(乳白)			LED照明 色温度: 3000K、仕上色: ブラック 入力電圧: AC100V、ハット付(4枚) キャブタイプ: 1.5m付、平行接地2Pブラケット付 落下防止ワイヤー付、手元スイッチ付 ハンガー付			LED照明 温白色(3500K)、高演色Ra90 器具光束600(lm) 以上 100V配線タイプ用、集光タイプ セット: 7mm径 10mm径 (ブラケット)		
LEDダウンライト			ダウンライト用リニューアルプレート			高天井用ダウンライト									LEDランプ		
LRS1-08(LN)		9W以下	LRS1-08用			LRS2-120(LZ)		113W以下							LED60形	ボール電球タイプ	6W程度
LRS1-08(LZ)		9W以下															
LED照明			ダウンライトφ150 埋込穴φ200用 枠: 鋼板 ホワイ			LED照明									LED照明 色温度: 2700K 入力電圧: 100V 光束: 725(lm) 程度 外径: 70mm程度、口金: E26		
下面開放型			下面開放型			下面開放型			下面開放型								
LRS6-4-30(LN)		22W以下	LRS3-2-15(LN)		13W以下	LRS20-4-65(LN)		46W以下	LRS15-6-58(LN)		44W以下						
W150			LRS3-4-65(LN)		46W以下	W300			□600								
																	
LED照明			LED照明			LED照明			LED照明								
トラフ型			直付下面開放型			直付型スクールコンフォート			逆富士型			直付黒板灯					
LSS1-2-15(LN)		13W以下	LSS6-4-48(LN)		35W以下	LSS7-4-38(LN)		35W以下	LSS9-2-15(LN)		14W以下	LSS13-4-29(LN)		23W以下			
LSS1-4-30(LN)		22W以下	LSS6-4-65(LN)		47W以下	LSS7-4-56(LN)		46W以下	LSS9-4-30(LN)		22W以下	角度調整可能なこと					
									LSS9-4-65(LN)		47W以下						
																	
LED照明			LED照明			LED照明			LED照明			LED照明					
ブラケット			ブラケット			ミラーライト			表示灯								
LBF3MP/RP-2-13		19W以下	H-321		FBC2-321-PH相当品 33W以下	N-161		FBC01-161-GL相当品 10W以下	P-101		FBC01-161-GL相当品 5W以下						
防雨タイプ									赤字白文字								
																	
LED照明 カバー: アクリル乳白色仕上			LED照明 器具光束 2960(lm) 以上 カバー: アクリル乳白色仕上			LED照明			LED照明								

トラフ型 非常用バッテリー内蔵								吊下器具（舟型）取付参考図 A D - 1	
K1-LSS1-4-30 (LN)	24W以下							※脱着防止ワイヤーは樹脂製被覆付とし、パイプ吊具にワイヤー取出し穴加工を施し、器具及び既設吊ボルトに固定すること。 	
								吊下器具（椀型）取付参考図 A D - 1	
								※脱着防止ワイヤーは樹脂製被覆付とし、パイプ吊具にワイヤー取出し穴加工を施し、器具及び既設吊ボルトに固定すること。 	
								ガード	G8 (4φ) SH1-FBF20-BL用
									G11 (9φ) LSS1-2-15
									G12 (9φ) SH1-FBF20-BL用
									G15 (9φ) LBF3MP/RP2-13用
									屋外用 (ステンレス製)
									G17 LRS8-4-43用
									4φ 30～80mmﾋﾞｯﾁ 天井埋込灯用
									G18 LSS1-2-15用
									3.2φ 30～50mmﾋﾞｯﾁ
									G19 LSS1-4-23/LSS1-4-30用
									3.2φ 30～50mmﾋﾞｯﾁ
									G20 LSS9-2-15用
									3.2φ 30～50mmﾋﾞｯﾁ